

令和3年度 子ども大学ぎょうだ

1 実施体制

子ども大学ぎょうだ	学長	赤松 明（ものづくり大学学長）
子ども大学ぎょうだ実行委員会	実行委員長	福地 克美（ものづくり大学総務課参事）
	実行委員 （関係団体）	行田市教育委員会、ものづくり大学、NPO 法人行 田市民大学活動センター、NPO 法人子育てネット 行田

2 事業内容

開催期間	令和3年7月10日～令和3年11月14日			
参加者数等	定員	40名	応募者数	36名
	参加者数	4年 19名	修了者数	4年 19名
		5年 6名		5年 6名
		6年 11名		6年 11名

3 実施内容

1日目	開催日時	7月10日（土） 10:00～11:45	
	会場	ものづくり大学	
	はてな学 講義名 講師	「どんなかたちがつよかな？ ～ペーパーブリッジコンテスト～」 ものづくり大学教授 大垣 賀津 雄 先生、ものづくり大学学生	
作製したペーパーブリッジの強度測定			
2日目	開催日時	7月17日（土） 13:15～15:15	
	会場	行田市産業文化会館	
	はてな学 講義名 講師	「報道のプロからニュース作りを 学ぼう」 テレビ朝日広報局お客様フロント 部 上野 敦史 先生	
ニュースキャスターを体験			
3日目	開催日時	11月14日（日） ①9:15～10:00 ②10:15～11:00	
	①ふるさと学 ②生き方学 会場 講義名	ものづくり大学 ①「行田は水の始発駅 ～水の旅の行く先は～」 ②『人にやさしい』文房具を デザインしよう	
文房具のデザインを自由に発想			

	講師	①NPO 法人行田市民大学活動センター 一理事長 今村 武蔵 先生 ②ものづくり大学准教授 町田 由徳 先生、ものづくり大学学生	
--	----	---	--

4 新型コロナウイルス感染症対策（工夫した点や苦慮した点など）

<ul style="list-style-type: none"> ・定員数を50名から40名に変更した。 ・原則として保護者の見学はなしにした。 ・緊急事態宣言の発令等を受けて、全6回の講座のうち3回を中止、1回を延期とした。 ・講座の中止・変更に伴い、臨時で実行委員会を開催した。

5 参加者の声

参加した子供の声（感想）	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はメンバー全員と話せなかったけれど、紙の橋を作っているときに心がひとつになり、協力できてうれしかったです。 ・ニュースを作っている映像を見たり、実際に自分ニュースを作ってみたりしてとても楽しかったです。 ・近くにある利根大堰が東京の水不足をなくすことができたことを知ってすごいと思いました。これからも水を大切にしていきたいです。 ・ユニバーサルデザインで、不便に感じている人を救いたいと思いました。
保護者の声（感想）	<ul style="list-style-type: none"> ・講義が終わるたびに行って良かったととても楽しそうに話してくれました。学校の授業でも講義で関連した内容が出たときは、自信をもって発表できたとても喜んでいました。回数が減って残念でしたが、子どもがとても楽しく学べて良かったです。ありがとうございました。 ・コロナ禍のなか、子ども大学ぎょうだを企画していただきありがとうございました。4年生になったらやってみたいと言っていたので、親子で楽しみにしておりました。こんなことをしてみんなで悩んで考えたことが楽しかった、と目を輝かせて話してくれたのを覚えています。また、来年もぜひ参加したいです。大変お世話になりました。